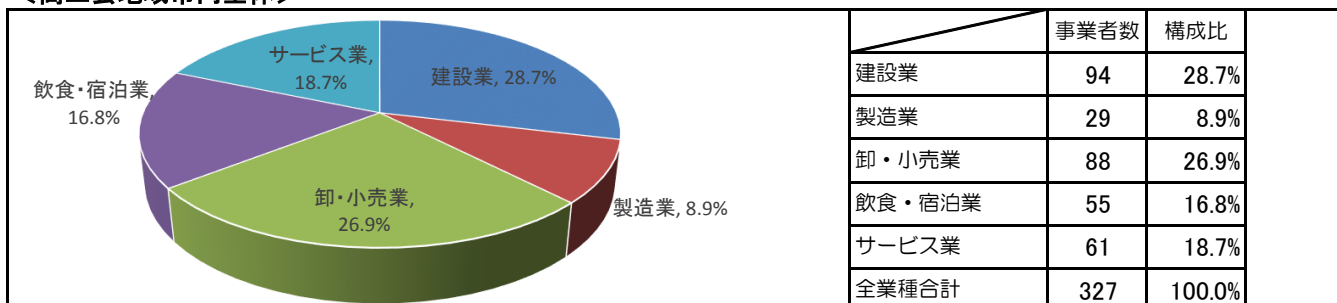


十日町市商工会地域 企業景況調査 第1四半期報告書 (H29.4.1~H29.6.30) 川西地区

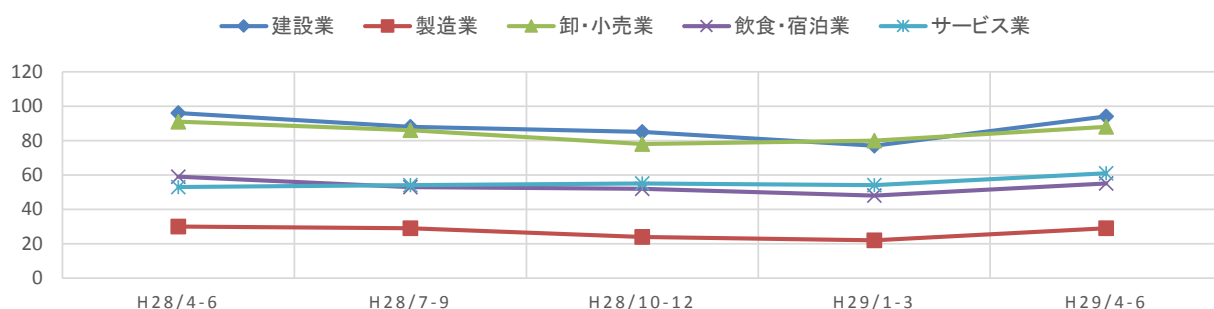
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>



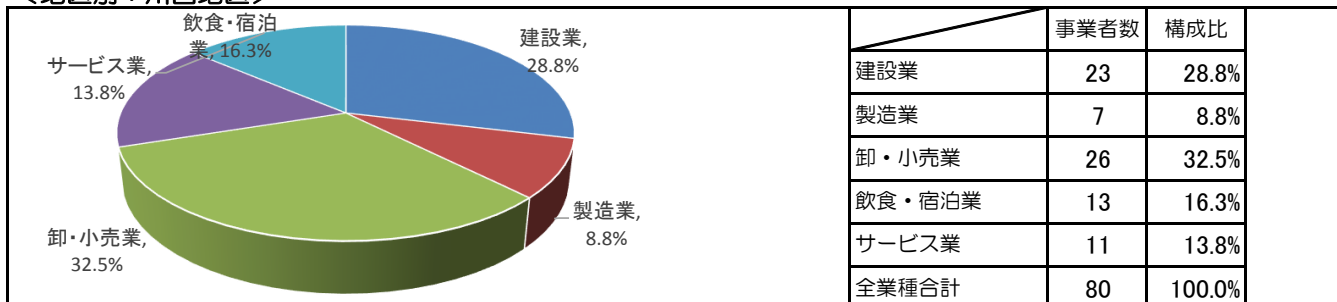
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



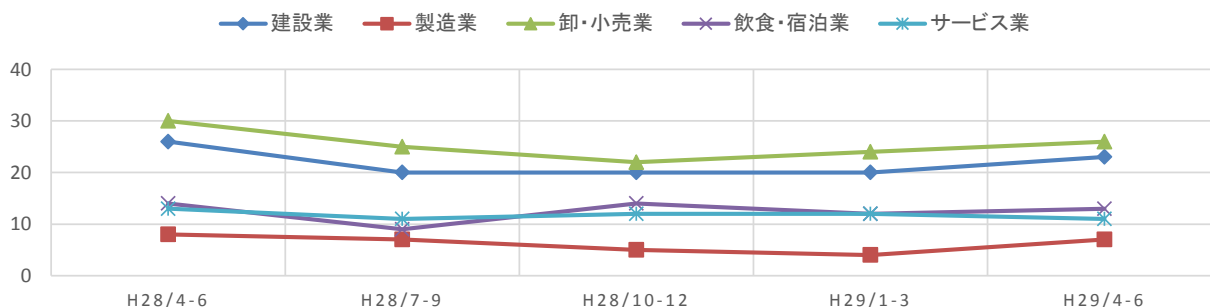
<コメント>

市内商工会地域全体の商工業者1056社の約31%からの回答を基に集計した結果である。製造業の割合が少ないものの、その他の業種に大きな偏りのない調査結果である。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

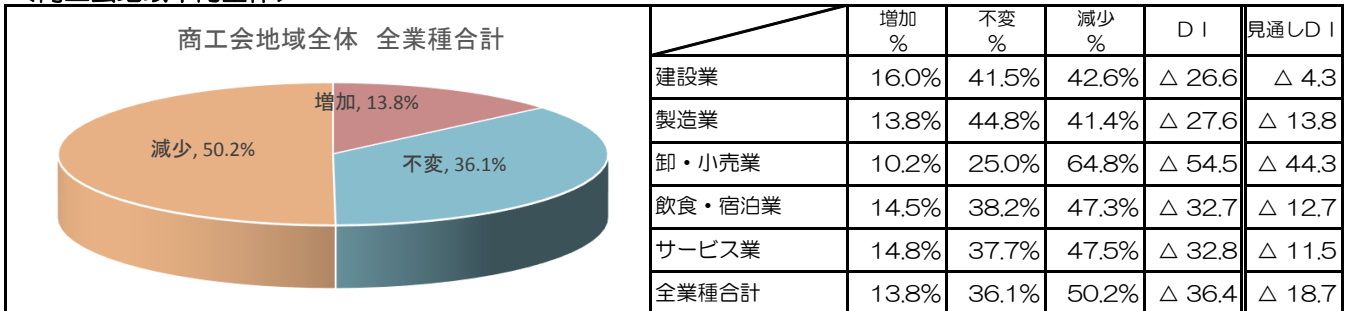
川西地域の業種割合は商工業者100社を対象に調査依頼をし80社(回収率80%)からの回答を基に集計した結果である。製造業の割合が少ないものの、その他の業種に大きなへだたりのない調査結果である。

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

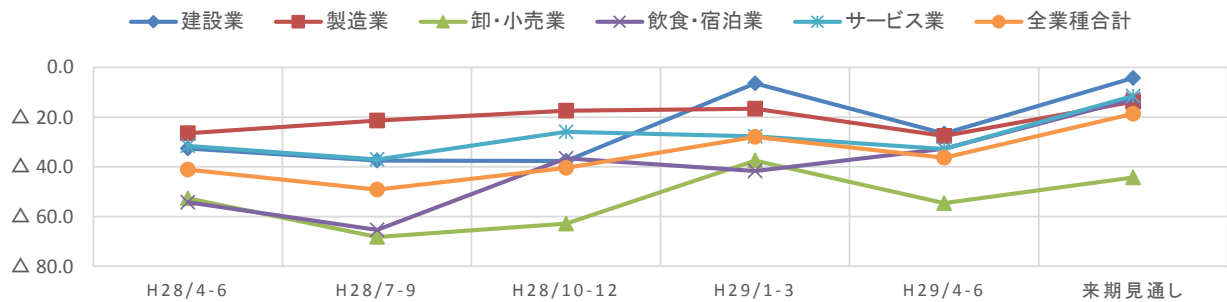
### 1. 売上について

- ・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

#### <商工会地域市内全体>



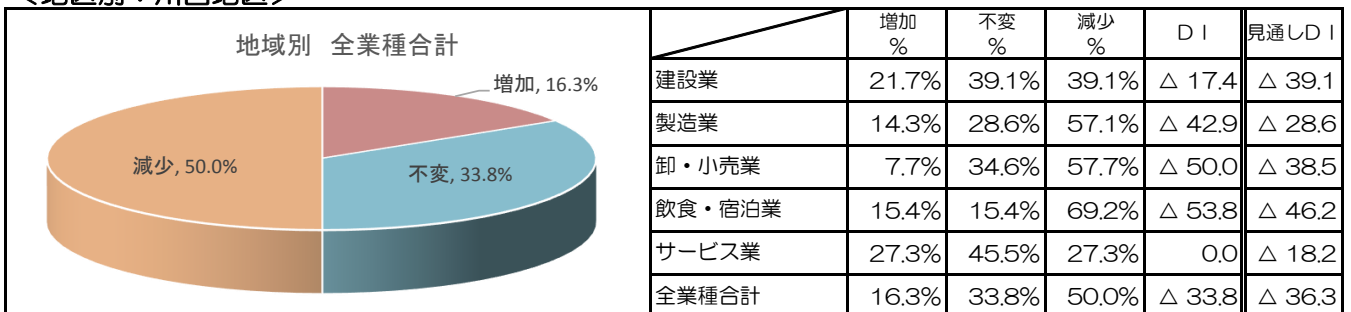
#### 業種別売上の推移（市内全体）



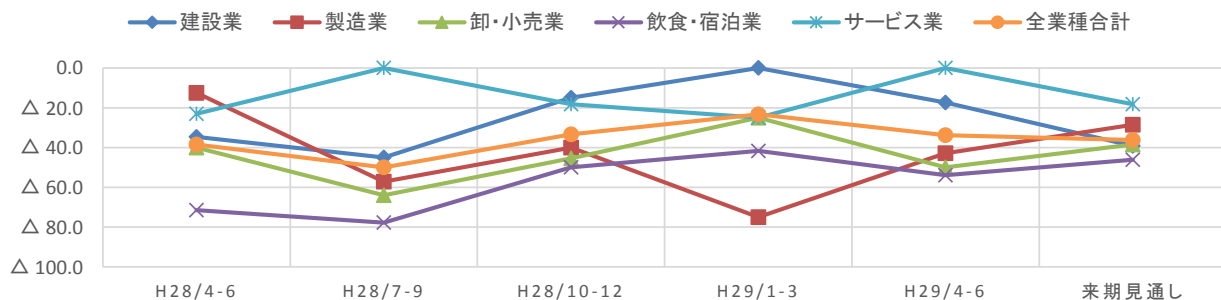
#### <コメント>

売上は、プレミアム商品券の使用期間中であったものの、前年同期と比較して、全業種で△36.4ポイント減少。特に卸・小売業の減少が目立つ。来期見通しは、全業種で17.7ポイント改善を予想。特に、建設業は22.3ポイント改善を予想している。

#### <地区別：川西地区>



#### 業種別売上の推移（地区別）



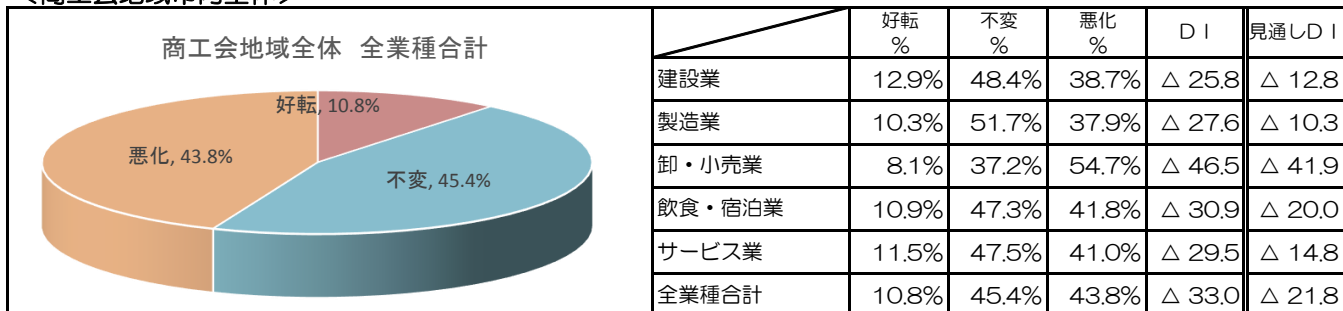
#### <コメント>

川西地域の売上は業種全体で前年同期と比較して△33.8ポイントの減少となっている。特に飲食・サービス業の減少が目立つ。来期見通しでは全業種で更に△2.5ポイントの減少を予想している。飲食・宿泊業については7.6ポイントの改善を予測しているが、全業種で厳しい予想をしている。

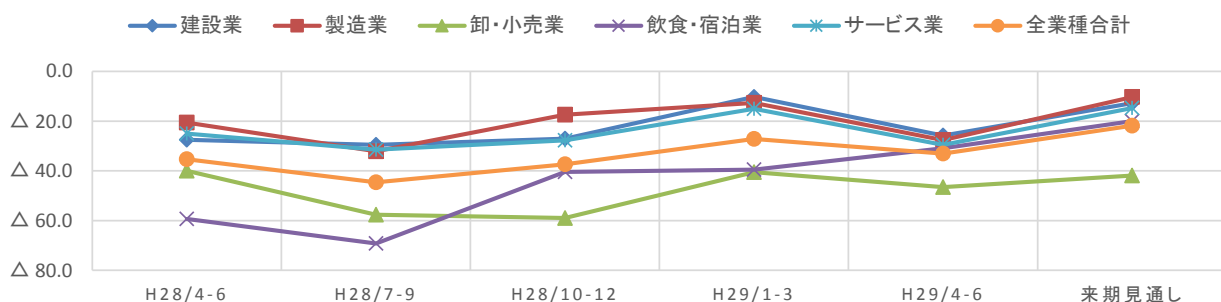
## 2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



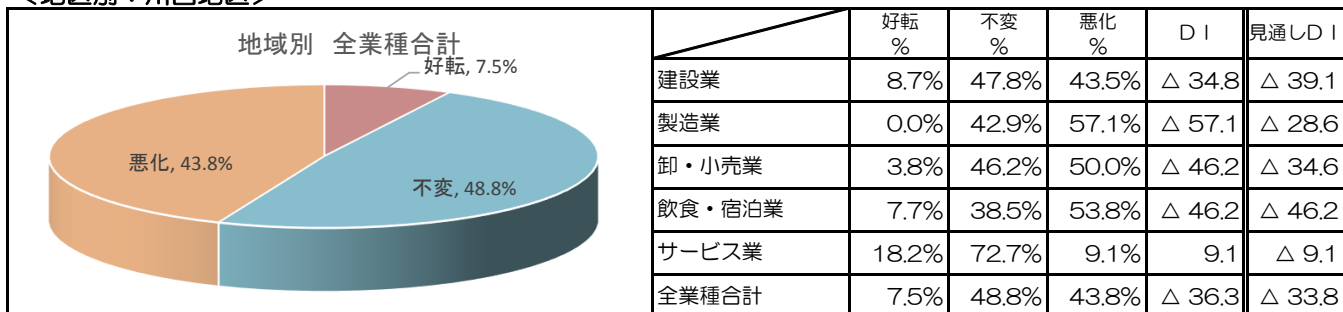
### 業種別採算の推移(市内全体)



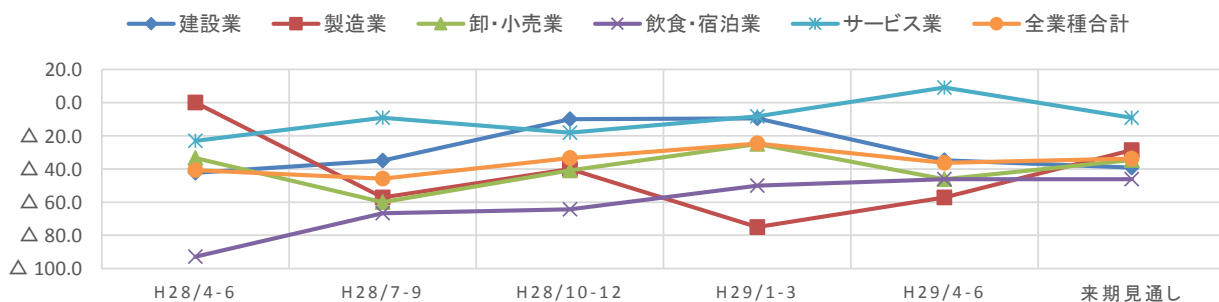
#### <コメント>

採算は、前年同期と比較して、全業種で△33ポイント悪化。特に卸・小売業の悪化が目立つ。来期見通しは、全業種で11.2ポイント改善を予想しているが、卸・小売業は、依然として厳しい予想をしている。

### <地区別：川西地区>



### 業種別採算の推移(地区別)



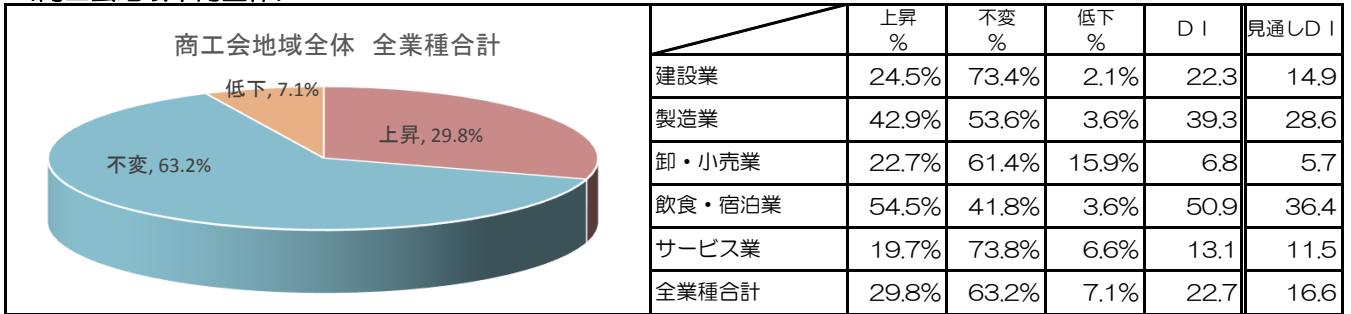
#### <コメント>

川西地域の採算性は前年同期と比較して△36.3ポイントの悪化となっている。特に製造業の悪化が目立ち、続いて、卸・小売業、飲食・宿泊業となっている。来期見通しは全業種で悪化となっているが、2.5ポイントの改善を予想している。

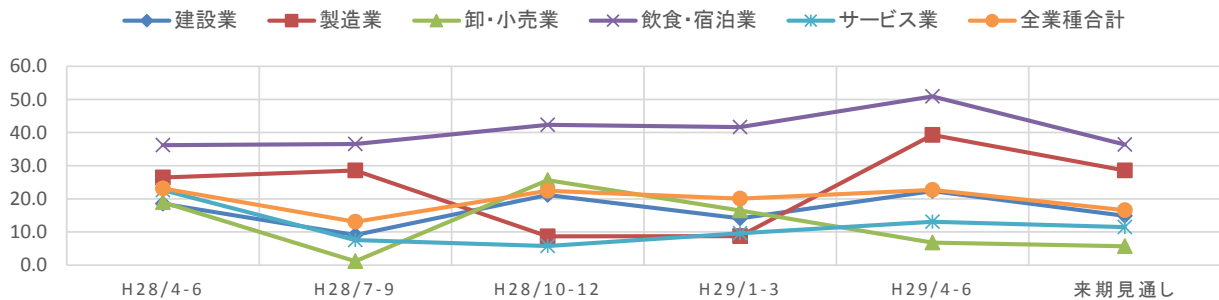
### 3. 仕入単価について

- ・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <商工会地域市内全体>



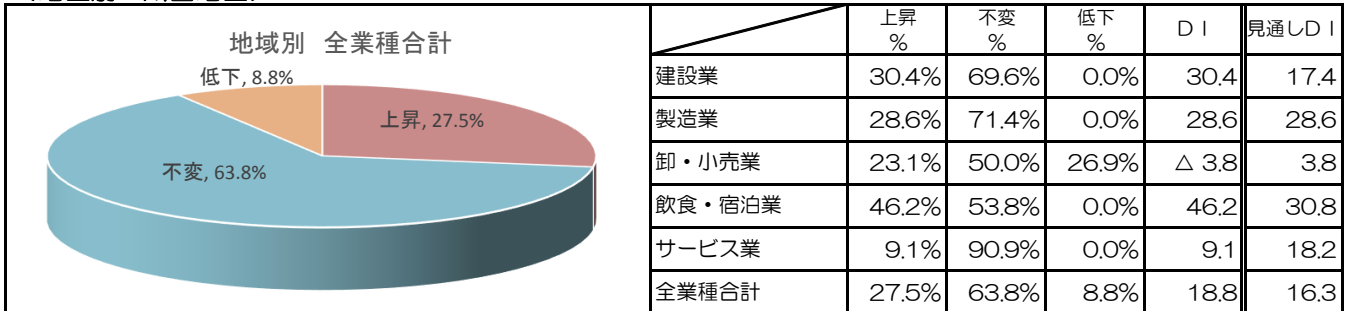
#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)



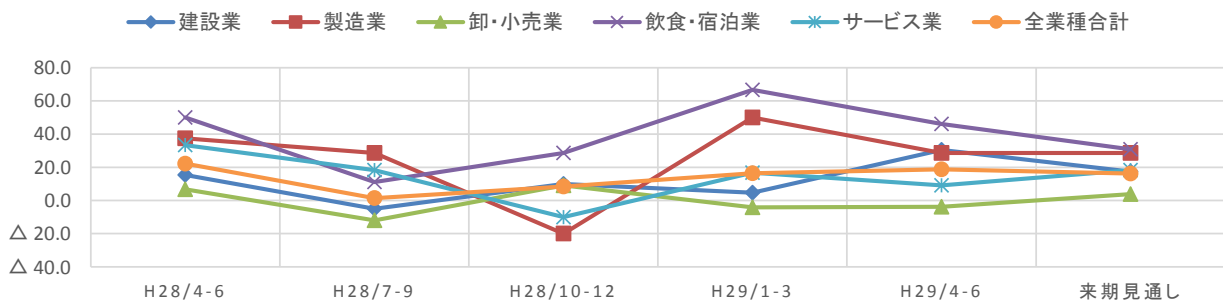
#### <コメント>

仕入単価は、前年同期と比較して、全業種で22.7ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業及び製造業の上昇が目立ち、売上原価を押し上げている。来期見通しでも、若干落ち着いていくように思われるが、この傾向は変わらないと予想している。

#### <地区別：川西地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)



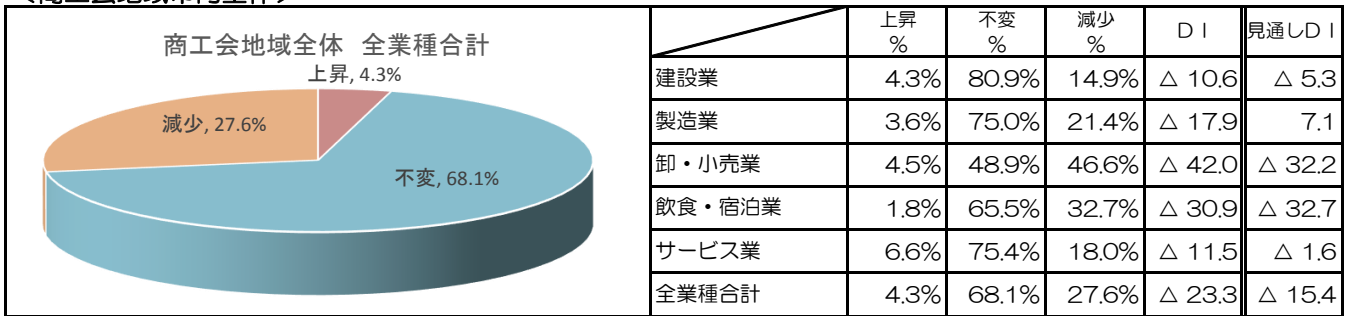
#### <コメント>

川西地域の仕入単価は前年同期と比較して18.8ポイント上昇している。卸・小売業は△3.8ポイント低下と回答しているが、飲食・宿泊業の上昇が目立ち売上原価を押し上げている。来期見通しでも2.5ポイント改善と予想している。

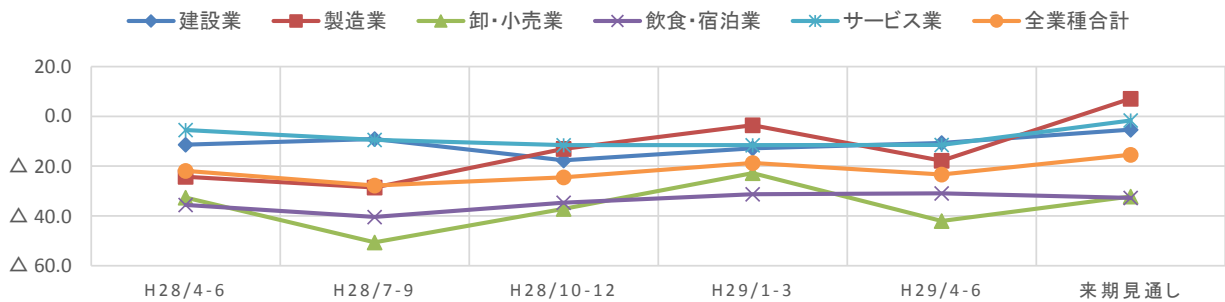
#### 4. 販売（客）単価について

- ・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <商工会地域市内全体>



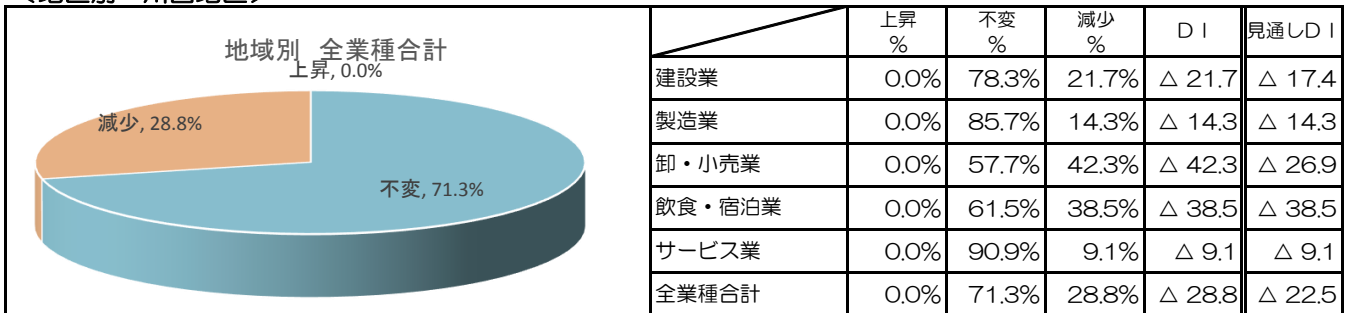
#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



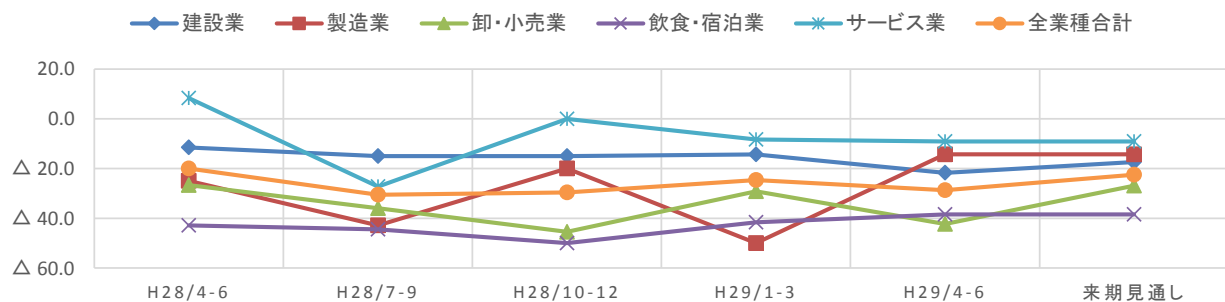
##### <コメント>

販売単価は、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△23.3ポイント低下。来期見通しは、全業種では上昇傾向であるが、飲食・宿泊業は減少傾向と厳しい見方をしている。

##### <地区別：川西地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）



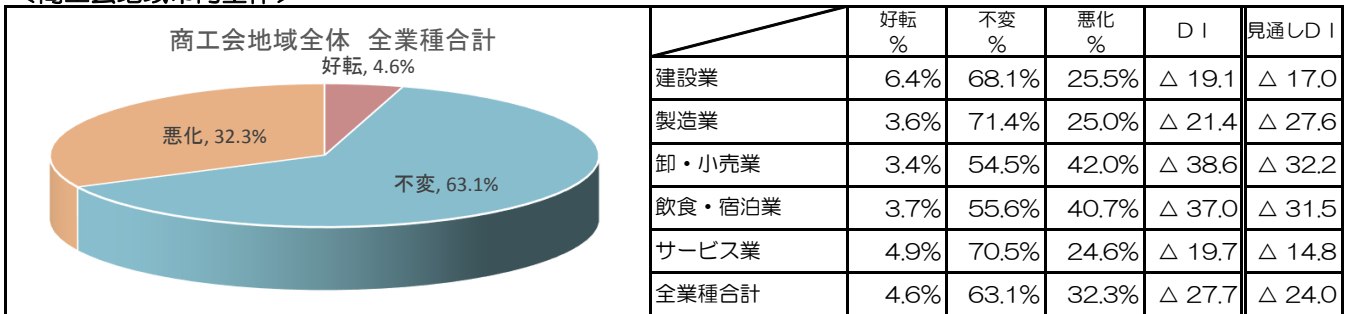
##### <コメント>

川西地域の販売単価は全体的には不変との回答が71.3%だったが、DI値を見ると卸・小売業の△42.3ポイントの減少をはじめとして、全業種で減少としている。来期の見通しは、上昇傾向と予想しているが、飲食・宿泊業は△38.5ポイントの減少傾向との見方をしている。

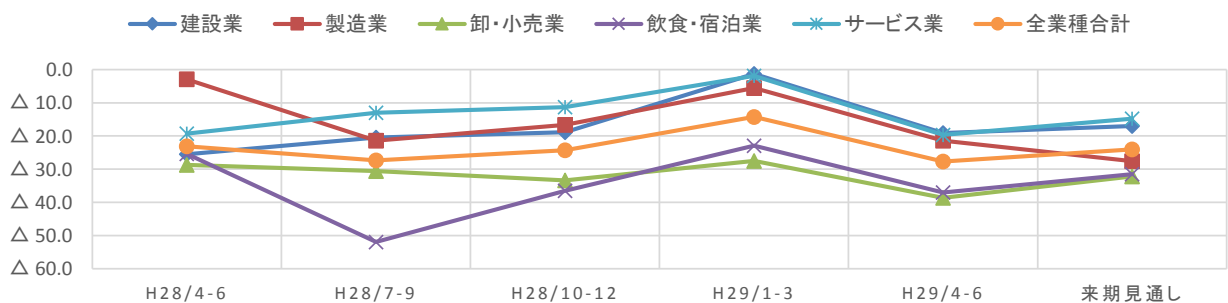
## 5. 資金繰りについて

- ・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



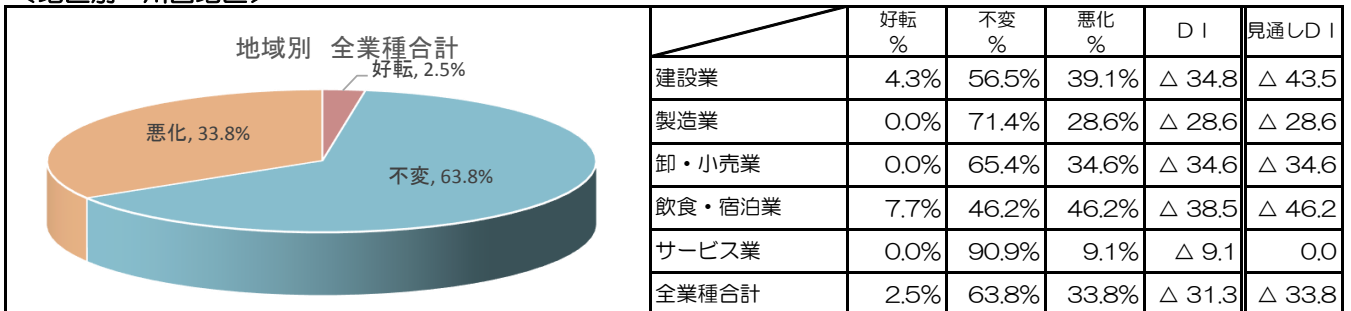
### 業種別資金繰りの推移(市内全体)



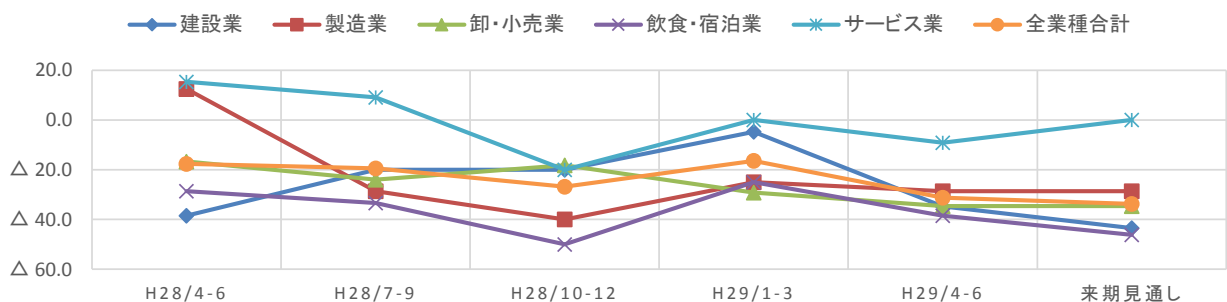
### <コメント>

資金繰りは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△27.7ポイント悪化。特に、卸・小売業及び飲食・宿泊業の悪化が目立つ。来期見通しでも、この傾向は変わらない。

### <地区別：川西地区>



### 業種別資金繰りの推移(地区別)



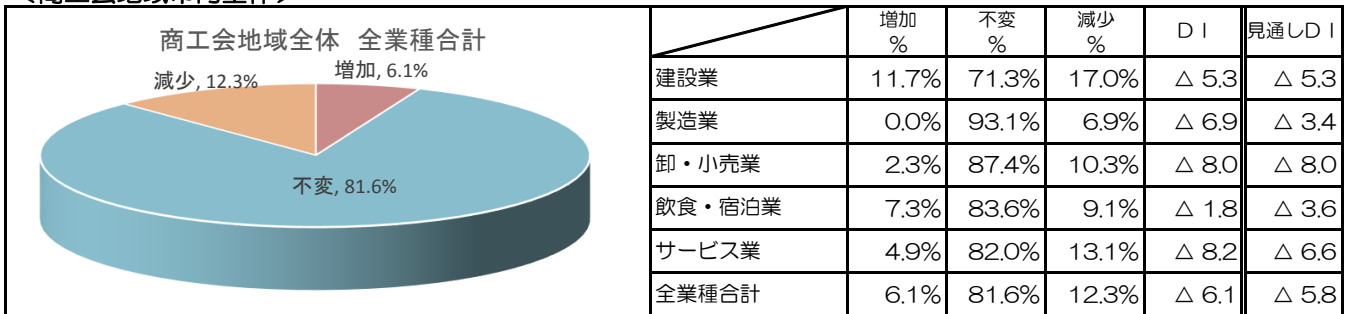
### <コメント>

川西地域の資金繰りは△31.3ポイント悪化で特に飲食・宿泊業の悪化が目立つ。全業種で来期見通しも厳しい予想としている。

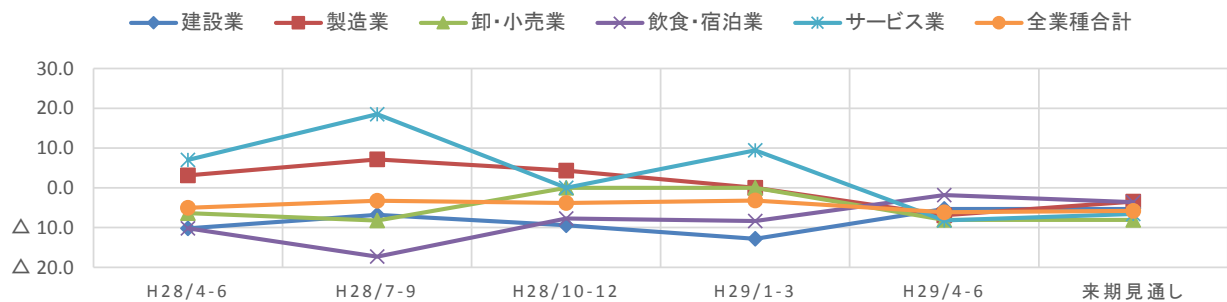
## 6. 従業員数について

- ・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



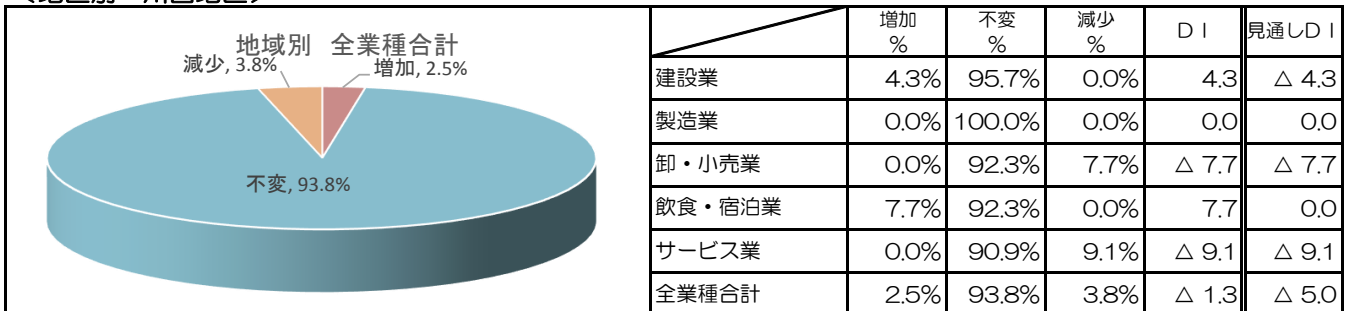
### 業種別従業員数の推移(市内全体)



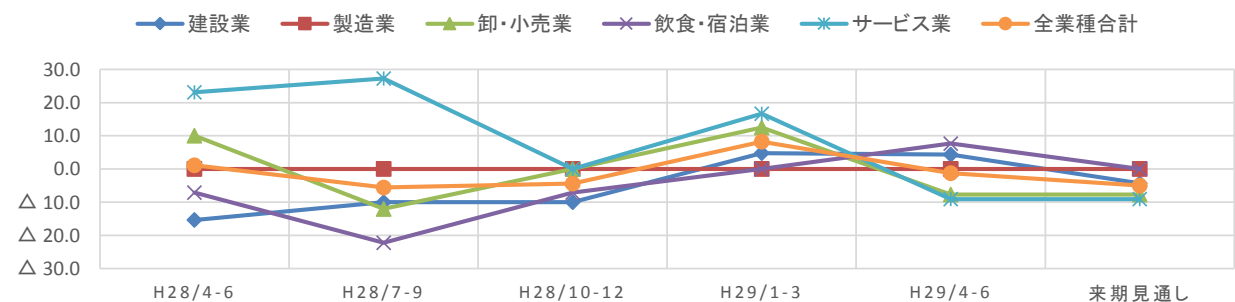
### <コメント>

従業員数は、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△6.1ポイント減少。来期見通しも同じような傾向である。

### <地区別：川西地区>



### 業種別従業員数の推移(地区別)



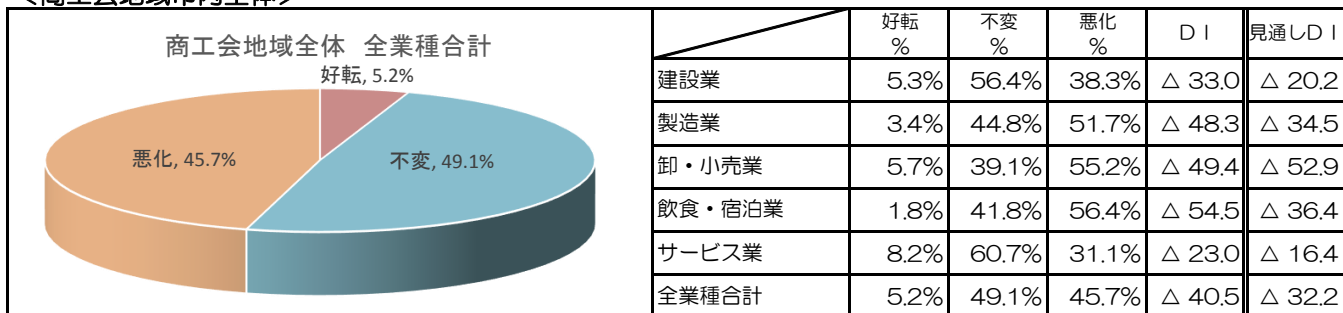
### <コメント>

川西地域の従業員数は全業種で不変基調である。来期の見通しについても同じような傾向である。

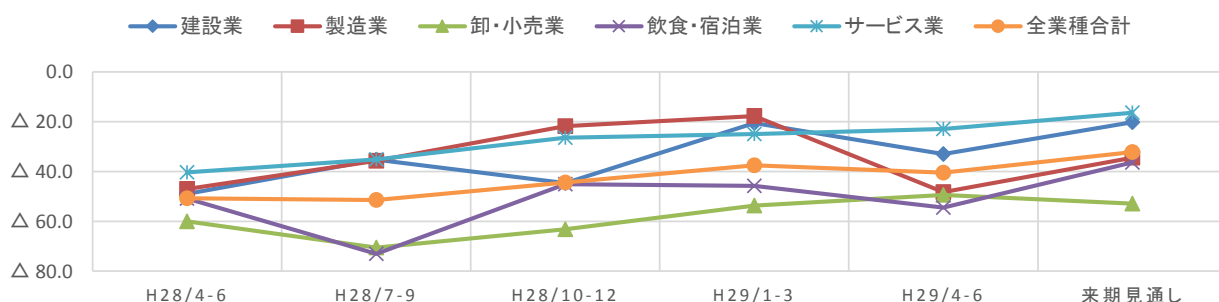
## 7. 景況判断について

- ・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



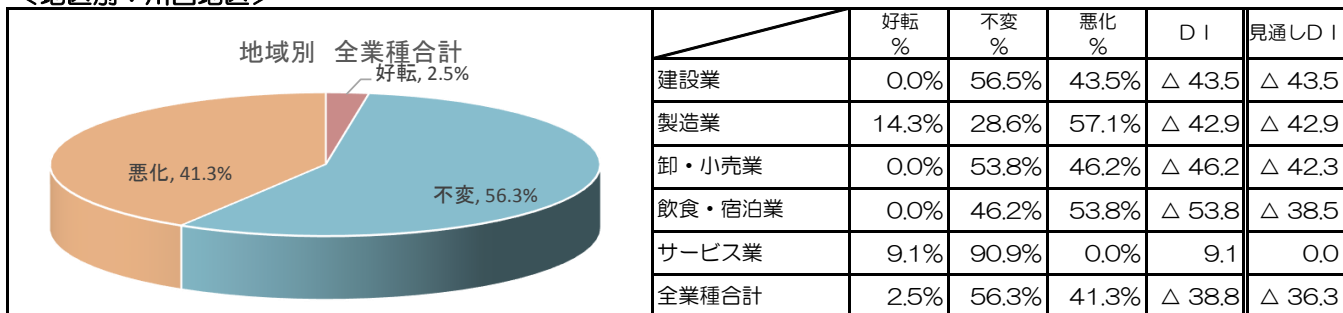
### 業種別景況判断の推移(市内全体)



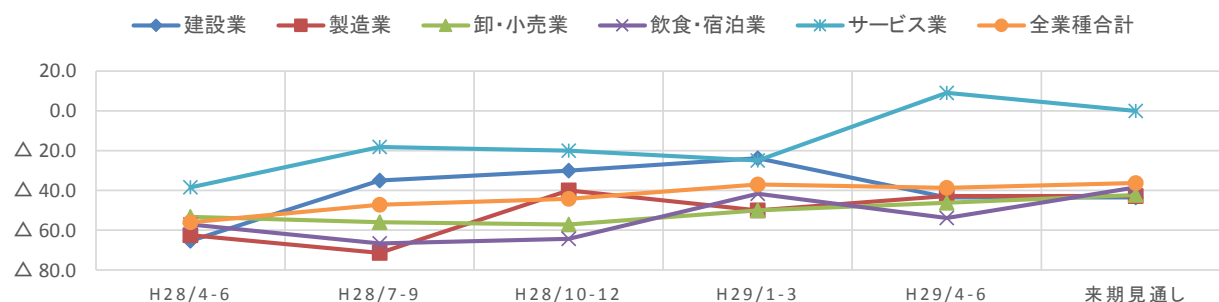
### <コメント>

景況は、前年同期と比較して、全業種で△40.5ポイント悪化。製造業及び卸小売業並びに飲食・宿泊業の半数以上が悪化と回答している。来期見通しは、全業種で8.3ポイント改善予想であるが、卸・小売業では△52.9ポイント悪化を予想している。

### <地区別：川西地区>



### 業種別景況判断の推移(地区別)

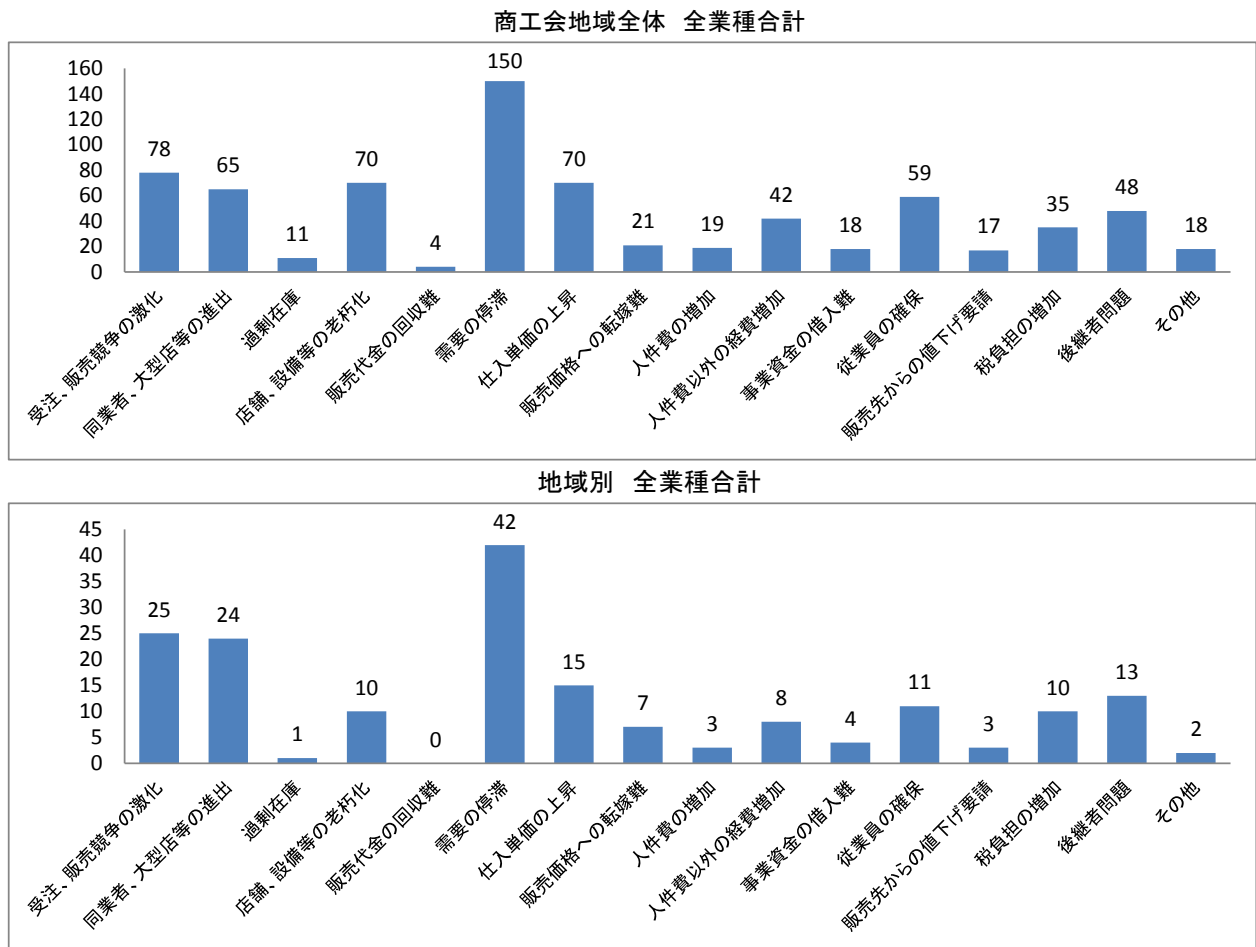


### <コメント>

川西地域の景況は前年同期と比較して△38.8ポイント悪化となっている。サービス業は9.1ポイント改善となっているが他の業種は全て悪化となっている。来期見通しも△36.3ポイントと厳しい予想をしている。



## 8. 経営上の問題点（上位3つ）：4月～6月



### <コメント>

経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「店舗、設備等の老朽化」「仕入単価の上昇」となり、前回調査の1位、2位は、今回も変わらなかったが、3位「従業員の確保」は6位となった。

## 9. 地域の景況概要

・4月～6月時点での全体概況は

### 【建設業】

前年同期と比較すると全ての項目で「不変」との回答が一番多かったものの、売上、採算は「悪化」との回答も多く、受注量の減少が伺える。また「仕入単価の上昇」も採算に大きく影響していることが伺える。経営上の問題点として上位ではないが前回調査でも出ていた「従業員の確保」が4位となっており、慢性的な従業員不足と高齢化への対応が今後の課題と言える。

### 【製造業】

前年同期と比較すると「売上」、「採算」が悪化しているもののその他の項目では「不変」の回答が多かった。売上の減少により採算が悪化していると考えられるが今後の見通しも厳しい予想をしている。経営上の問題点として1位「需要の停滞」2位が「受注販売競争の激化」「人件費以外の経費増加」「後継者問題」が同数となっており、先が読めない中競争が激化していることが伺える。

### 【卸・小売業】

前年同期と比較するとDI値で△50.0ポイント減少と厳しい状況となっており、採算性を圧迫している原因として「客単価」の低下が挙げられ地域全体の消費低迷がうかがえる。経営上の問題点として「同業者・大型店等の進出」が1位で、市内大型店への消費の流出が大きな要因となっている。続いて「需要の停滞」が挙げられ、「客単価」の低下と共に地域消費の冷え込みが読み取れる。今後も回復への期待感は薄く、厳しい状況が続くと予想している。

### 【飲食・宿泊業】

前年同期と比較すると仕入単価の上昇により原価率が高くなり、採算が悪化している。売上DI値でも△53.8ポイントの減少と他業種の数値を大きく上回っていて、今後も厳しい予想となっている。経営上の問題点として1位「需要の停滞」2位「仕入単価の上昇」3位「店舗・設備等の老朽化」を上げており、施設の老朽化対策を進めたいがなかなかそこまでいかないのが現状となっている。今後採算性が改善されるには厳しい状況が続くと思われる。

### 【サービス業】

前年同期と比較するとDI値では0ポイントと全業種の中で唯一プラスマイナス0の業種となっていて、前年同期と比較して改善がみられるが、資金繰りは△9.1ポイント減少と収益との採算性が悪化している。経営上の問題点として「需要の停滞」が1位で地域での消費低迷がうかがえる。今後の見通しでは「売上」「採算」など他業種よりも改善がみられる回答があり今後回復の兆しが期待できる。